



第17回

郷土博物館 分館

わたしのおぎくぼ毎号4ページ目に開催案内を掲載している「郷土博物館分館」をもっと知りたいということで、平野阿紀館長に話を伺いました。

★杉並区立郷土博物館ってどんなところ？

1989年（平成元年）に都立和田堀公園の中に開館したのが本館、そして2007年（平成19年）に天沼弁天池公園の中に開館したのが分館です。

杉並には約3万年前に人が住み始めました。それから現在までの歴史・生活・文化の資料を集め、調査、研究、郷土博物館の分館外観展示し、大切に保管しています。学校教育の一環として区内の小学3年生が、学校見学で本館を訪れ学習します。

資料等は増える一方で収蔵場所が限られる中、デジタル・アーカイブ化なども進めています。

*デジタル・アーカイブ化：インターネット等を通じて公開するために博物館資料をデジタル化して保存すること。

★杉並区立郷土博物館 分館

元々は一般企業が所有していた土地を区が購入し、残存していた建物を改修・再活用しています。

現在3人の学芸員が社会教育の学習の場になるように区民有志の参加・企画による展示も行っています。

★東棟

定期的に開催される様々なイベント

「杉並昔話紙芝居一座 すかい」による定期口演や小学生を対象として春と秋に「ムシムシ探検隊」を開催しています。公園内に生息する昆虫を探集して観察する「ムシムシ探検隊」は毎回、大人気のイベントです。

また、夏季には涼み処として地域の方々が利用しています。



郷土博物館の分館外観



絵本などが置いてある
休憩スペース

★西棟

1階展示室

郷土の調査研究や博物館の事業を通して、生涯活動の場・研究成果の発表の場の提供や企画展の展示、区民参加型展示などを開催しています。杉並に住んでいても意外と知らない郷土の情報に触れることができます。

棟方志功が自宅の便所に描いた「雪隠観音」が再現展示されています。



棟方志功の「雪隠観音」

2階展示室

約70m²の広さにウォールケースがあり、収蔵品を中心内容の濃い展示が見られます。写真は取材時の企画展「SHUNPAN EYES 片山春帆がみたすぎなみの農風景」です。



展示の期間中には学芸員等による解説やギャラリートークが開催されることもあり、補足説明や質問に答えてくれるなど理解をさらに深められます。

★心安らぐロケーション

閑静で緑豊かな天沼弁天池公園の一角で四季の変化を楽しむことができ、まさに憩いの場となっている文化施設です。公園に遊びに来て展示に気づいたという人や、ふらりと覗いてみたら面白かったという感想もあります。荻窪駅から約10分、天沼八幡通り商店街を抜けるルートと、教会通り商店街から住宅街を経由するルートがあります。買い物や散歩のついでに立ち寄ってみては！

郷土博物館 分館

- 住所：杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内 ●電話：03-5347-9801
- 休館日：毎週月曜日・第3木曜日（祝休日の場合は翌平日） ●観覧料：無料

館長から 開館以来、身近で親しまれる博物館としてさまざまな事業に取り組んでいますが、皆さんにもっと知って利用していただきたいです。町づくりを進める中で昔のことを知り学ぶことは大切です。そのためのお役に立ちたいと思っています。未来を考えるためにも、ぜひ博物館を活用してください！